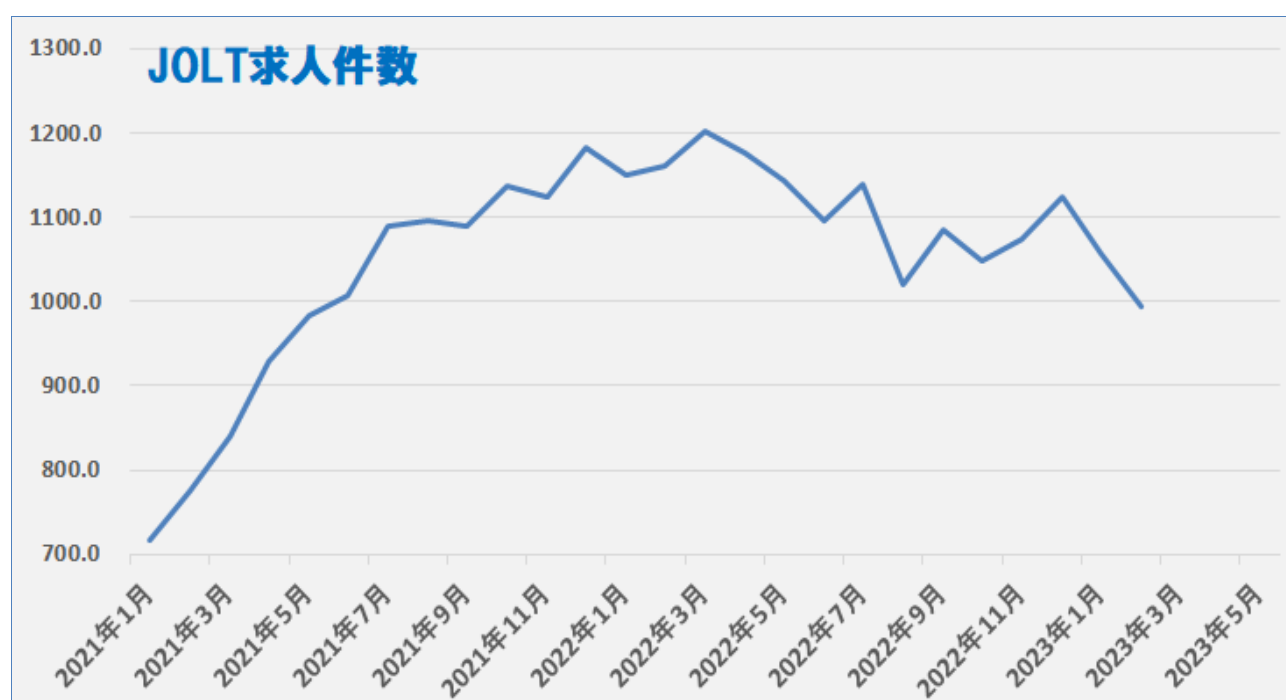


NY 市場レポート（前日 21 時 00 分～午前 5 時 30 分まで）

米国の主要な経済指標の結果

2 月 JOLT 求人件数 993.1 万件（予想 1050.0 万件・前回 1082.4 万件⇒1056.3 万件）

2 月の米求人件数は、市場予想を下回り、2021 年 5 月以来の低水準となった。約 2 年ぶりに 1000 万件を割り込んだことで、労働力の需要が逼迫しているとの懸念が後退したことが示唆された。失業者 1 人に対する求人件数は 1.67 件（前月は約 1.9 件）に減少し、2021 年 11 月以来の少なさとなった。ビジネスサービスや医療、社会支援、運輸、倉庫、公益事業などで求人件数が減少、一方建設、娯楽エンターテインメントでは増加した。



データを基に SBILM が作成

ダウ平均は5営業日ぶりに反落、ナスダックは続落

米株式市場では、前日までダウ平均の上昇が続いたこともあり、序盤から利益確定の売りが先行した。さらに、2月の米 JOLT 求人件数が市場予想を下回ったことを受けて、米景気の先行き不透明感が高まったことも圧迫要因となり、主要株価指数は下げ幅を拡大した。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 325 ドル安まで下落した。その後は下げ幅を縮小して 198.77 ドル安 (-0.59%) で終了した。一方、ハイテク株中心のナスダックは、63.12 ポイント安 (-0.52%) で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	素材	-1.93%	1	キャタピラー	-5.40%
2	資本財	-1.89%	2	3M	-2.22%
3	金融	-1.47%	3	トラベラーズ	-2.12%
4	エネルギー	-0.54%	4	DOW	-1.93%
5	消費者サービス	-0.24%	5	JPモルガン・チェース	-1.34%

データを基に SBILM が作成

ドルは主要通貨に対して下落

NY市場では、序盤に発表された2月米JOLT求人数が2021年5月以来の1000万件割れとなったことを受けて、労働市場の逼迫懸念の後退との見方が広がり、米長期金利の低下とともにドルは主要通貨に対して下落した。米長期金利の指標となる10年債利回りは、3.482%から3.333%まで低下して2週間ぶりの低水準となり、ドル/円は序盤の133.08から131.52まで下落した。一方、ユーロは対ドルで序盤の1.0887から1.0973まで上昇し、2/2以来の高値を更新した。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。